

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十九年五月度 入選句（投稿総数二千六百五十五句・一般投句数六百四十七句）

特選

しやぼん玉追いかける児を追いにけり

大垣市

宮上 美濃留

覚束ない足取りでしやぼん玉を追いかける子、その子を追う大人。

しやぼん玉は美しいけれど儚ないもの、追いかけても追いかけても掴めるもの、捉えられるものではない。

夢を追いかけても届かない人の世の有りようも見えてくるようだ。

藤房の風むらさきに匂ひけり

大垣市

岡田 あや子

風がむらさき色になつて匂つているというのだ。いい香りを放つものに沈丁花、木犀などを思い起すが沈丁花は早春の 木犀は初秋の そしてこの藤は初夏の香りを運ぶもののような気がする。そんな風に包まれていると身も心もむらさき色に染まつてしまうような錯角を覚える。

たつぷりの水に安らぐ植田かな

安八郡神戸町

高橋

泰

植えられたばかりの早苗田、たつぷりの水に植えた人のやさしいころざしが見えてほつとする風景である。このころざしに応えてきつとすくすくと育つであらう植田、大きな空を貰つて大きく育つて欲しいと思う。

秀逸

探す目となれば驚くほど土筆

養老郡養老町

田中

秀子

花ふぶき大垣城へ雨やどり

三重県四日市市

松田 里津子

二度三度ふり返り見る城の春

佐賀県佐賀市

古賀

るみ

叱られて道の竹の子へし折らる

大垣市

棚橋

みさを

花筏風のかたちになりけり

大垣市

岩田

唯志

春光や亀はゆると足を出す

大垣市

村田

通夫

閉じた炉の畳新たなや風薫る

大垣市

山田

千歌子

散る事を忘れ盛りの牡丹かな

大垣市

多和田

一徳

カーテンの揺れに青葉の匂ひかな

不破郡垂井町

大羽

志津子

桜鯛青き眼の透きとほる

大垣市

鈴木

美江子

入選

通学路の小紅の渡し水温む
卒業子糸引くやうに退場す
母よりも大きくなりし卒業子
逆上り出来ない子にも春の虹
はじめてのひとり暮しや若葉風
夜桜や負ふた子に今助けられ
春愁やグラスに残るハイボール
カレンダー一氣に剥す四月来る
突き上げて青空に咲く辛夷かな
風光る風の斑日の斑川灯台

大垣市	伊藤 有紀
大垣市	小林 研
大垣市	岡田 あや子
安八郡輪之内町	野村 照子
大垣市	平野 きぬよ
大垣市	安田 むつこ
安八郡神戸町	大槻 恭子
東京都世田谷区	関戸 信治
岐阜市	富永 萬里
大垣市	臼井 秀子

入選

ぼうたんの少し解けて紅のぞく
風に乗る園児の作るこいのぼり
十葉の吊るし干しある深庇
雨一日汚れてしまふ白牡丹
やはらかき嬰の拳や柿若葉
指で見る刃の切れ味や春の水
村中の明るくなりし柿若葉
桜から桜へ続く通学路
花筏もう前向きになっている
何気なき時間は宝春の風

揖斐郡大野町	藤田 涼子
大垣市	松岡 みつ
揖斐郡池田町	木塚 しょう
大垣市	早崎 美弥子
大垣市	新町 恵子
大垣市	鶴田 信子
安八郡神戸町	高橋 日出美
栃木県那須塩原市久保田	山 蛾
東京都北区	菱沼 多美子
愛知県名古屋市	山田 雅之

選者吟

竹の子に親の高さのまだ見えぬ

青 志